

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名	くれよんきっず		公表日			令和 8年 3 月 2 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切な活動スペースを確保し、活動しやすい環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準以上の職員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子ども達にわかりやすい構造化、また安全面にも配慮した環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動内容に応じてスペースを使い分け、安全かつ円滑な支援を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの特性やその日の状態に応じて個別の空間を活用し、支援を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		定期的な振り返りを行い、支援内容の見直しや改善につなげている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		半年に1回の面談等でお話を聞き、職員全体で把握し、改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		施設会議を毎月行い、意見を全体で把握し、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	保護者と事業所内の評価のみとなっている。	外部評価を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員の資質向上を目的として、内部・外部研修への参加を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域に即した内容を作成し、HP上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		発達段階や生活状況をふまえたアセスメントを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリングを行い、共通理解の下で作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画内容を職員間で共有し、共通理解のもと、支援を実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個別支援計画書に基づくフォーマルなアセスメントと日々の観察や記録によるインフォーマルなアセスメントを組み合わせ、総合的に支援に活かしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ご家庭での様子を面談や連絡帳などで伺い、各ご家庭での支援について内容を検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で情報共有を行い、チームでプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		5領域の徹底と、常に新しい情報を取り入れ、実践している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		園児の発達段階に応じて、個別支援と集団支援を組み合わせている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		チーム内での役割分担を行い、連携した支援を実施している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		チームで振り返りを行い、支援の質の向上に努めている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援内容や園児の変化を日々記録し、支援に活かしている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、支援を考え、見直して支援につなげている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者や精通した者が参画している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		情報共有を行い、連携を図り、支援を行う体制を整えている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		通園している幼稚園、保育園と連携を図り、送迎時等にご本人の様子を共有している。見学に行くなどし相互理解を図っている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者様のご要望に応じて情報共有を行っている。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	/	/	/	/	/
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	/	/	/
	31	(31は、事業所のみ回答)	5			訪問や電話等にて連携を図っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			地域の防災活動（炊き出し）などに参加させていただいている。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			連絡帳や送迎時など、日々保護者との情報共有を心掛けている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者会などでペアレント・トレーニングを実施している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に重要事項説明書と併せて行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			面談の際、ご家族の考えや想いを伺い確認している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			個別支援計画書などを通して同意を得ている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			定期的に面談を行いながら、悩みや相談を伺い、必要な助言と支援を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		定期的に保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった場合は、電話や面談等にて迅速かつ適切に行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		くれよん通信やInstagramなどで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の重要性を認識し、適切な管理体制を整えている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の特性を考え、絵カード等での可視化を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	地域クリーニングなどは行っているが、現状をふまえ地域との関りを広げられるよう前向きに検討していく。	地域住民とのイベントを検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成し、定期的な研修、訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難訓練、避難ルートの確認、消火器の使い方などを確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		健康情報票を記入していただき確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーに関する情報を職員間で共有し、対応についても共通理解を図っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全対策委員会においても、様々なシチュエーションを考え支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		「安全第一」であることをお伝えし、取り組んでいる	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		会議等で情報共有を行い、再発がないように支援、対策を行っている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止および適切な対応について研修を行い、意識向上に努めている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束は行っていないが、行う場合には組織的に決定し、十分な説明をおこなっている。		